

(第2号様式)

那 工 第 3193 号
令和7年 3月19日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立那覇工業高等学校
校長 宮里 真二
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	7月16日(火)	場所	本校・小会議室	出席 状況	4名出席
第2回	日時	12月24(火)	場所	本校・小会議室	出席 状況	5名出席
第3回	日時	3月18日(火)	場所	本校・小会議室	出席 状況	5名出席

2 学校評議員に求めた事項

① 学校経営方針への助言 ② 生徒の活動状況への助言 ③ 生徒指導への助言 ④ 進路指導への助言

3 学校評議員の意見

①強い指導は「ハラスメント」と捉えられ生徒に甘くなりがちだが、社会の厳しさは変わっていないので、言葉や当たり方に気をつけながらしっかりと指導に当たってほしい。 ②未履修懸念者へは学校だけの取組では対策が困難で、保護者からの協力を得ながら行うべき。 ③工業祭での生徒達の頑張りがとても良かった。今後も生徒の個性を伸ばす指導を続けてほしい。 ④学校のPRをもっと積極的に行う必要がある。 ⑤朝学の必要性や、生徒のレベルにあった指導となっているのかについて、先生方はどう捉えているのか。 ⑥目の前の生徒を大切に、これからも丁寧な対応で学校教育を続けていってほしい。
--

4 学校運営に反映した事項

①教師から生徒への言動について、「ハラスメント」と受け止められない指導のあり方についての啓発 ②保護者への生徒状況連絡や三者面談の充実等、保護者連携を図る取り組み ③資格検定や各種大会、コンテスト等への取り組みの充実 ④朝学のあり方、内容等についての検討(次年度も、改善しながら継続する事を決定)

5 課題その他

①工業高校としての魅力は、専門性を活かした卒業後の就職にあり、その期待に添える進路決定の充実が重要 ②生徒が学校生活に向き合うよう、個性を伸張する魅力的な教育活動の充実 ③中途退学や転学、休学者数の多さの改善 ④学校の情報発信、学校紹介の工夫(SNSの積極的な活用)
--